

第25期 中間事業報告書

平成15年4月1日から
平成15年9月30日まで

(証券コード 9697)



ストリートファイターが家庭用ゲーム機に登場してから
今年で15周年を迎えます。

©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CAPCOM



目次

株主の皆様へ	1
営業の概況	3
中間連結貸借対照表	5
中間連結損益計算書	6
中間連結剰余金計算書/ 中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
セグメント情報	7
中間貸借対照表(単独)	8
中間損益計算書(単独)/株式の状況	9
会社の概要/役員の状況	10

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

ここに当社第25期上半期(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)の営業の概況と中間決算についてご報告申しあげます。

当上半期におけるわが国経済は、失業率の高止まりや個人消費が伸び悩みましたものの、株価の上昇、輸出の回復や設備投資の持ち直しなどにより、景気は緩やかながらも底離れの兆しが見えてまいりました。

当業界におきましては、国内市場の成熟化が進んだことに加え、顧客消費の多様化や大型タイトルなどのけん引ソフトの不足により、市場規模は足踏み状態となりました。

一方、ブロードバンド(高速大容量通信)の普及に伴い、事業領域の拡大や新たな収益基盤を求めて、オンラインゲーム活性化の足音が聞こえてまいりました。

海外におきましては、欧米市場がスポーツゲームや人気映画を題材にしたコンテンツで活気づいたこともあって堅調な伸びを示し、拡大基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、収益構造を再構築するため、開発体制の見直しやマーケティング戦略の強化を図るとともに、大幅な組織変更を断行するなど、全社を挙げて抜本的な構造改革に着手しました。また、販売の拡大を図るため、販促キャンペーンの全国展開や商談会の拡充に加え、会社発展の礎を築いた「ストリートファイター」生誕15周年記念イベントの開催など、積極的な事業展開に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は168億95百万円(前年同期比3.9%減)となりましたものの、利益面につきましては、販売費および一般管理費の削減等により経常利益14億85百万円(前年同期比22.1%増)、中間利益8億30百万円となりました。

中間配当につきましては、1株当たり10円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、国内市場はここ数年頭打ち状態が続いておりましたが、ハードの普及一巡に伴い、ゲームソフト事業は今年から来年にかけて本格的な収穫期を迎えるものと思われれます。一方、海外競合メーカーの台頭により、競争環境はますます激化し、勢力地図は大きく塗り変わることも予想されます。

産業構造の変革が進む状況下、当社は綿密な市場分析によりユーザーニーズに適合したソフトを投入するとともに、顧客満足度の向上により需要を増大し、アドバンテージを築いてまいります。また、堅調に伸ばしている欧米市場での販売強化を図るため、海外ユーザーの嗜好を的確にとらえた訴求力のある新作タイトルの発売や販路の拡大により、売上を押し上げてまいります。さらに、ネットワーク環境の進展に対応して、多様なオンライン対応ソフトを投入するなど、環境の変化を見据えて着実に布石を打ってまいります。国内のゲームソフトを題材にした映画としては、過去最大のヒットを放った「バイオハザード」に続き、「鬼武者」、「デビル メイ クライ」も映画化へ向けて動き出すなど、映像分野とのコラボレーション戦略を志向し、売上拡大のための相乗展開を図ってまいります。

これら市場環境の変化に対応した諸施策を実施することに加え、生存競争を勝ち抜くために、成長シナリオの実現に向けて全体のベクトルを合わせるとともに、中長期的視点に立って、グループ全体の戦略的な経営展開を推し進め、グローバルな企業経営により事業基盤の拡充に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年11月

代表取締役社長

辻本憲三

営業の概況

【コンシューマ用機器部門】

「ビューティフル ジョー」(ニンテンドーゲームキューブ用)やパブリッシャータイトルの「ファイヤープロレスリング Z」(プレイステーション2用)などが順調に推移いたしました。また、欧米市場を席卷した「グランド・セフト・オート III」(プレイステーション2用)が海外輸入タイトルとしては、堅調な出足を示しました。

一方、プレイステーション2向けの「ロックマン X7」や「グレゴリーホラーショー」等その他のソフトが、総じて計画未達となったことに加え、中堅タイトルが下期にずれ込むなど、苦戦を余儀なくされました。

海外につきましては、米国でのロックマン生誕15周年を記念したテレビ放映など、メディアミックス展開を実施したこともあって、「ロックマン エグゼ3」(ゲームボーイアドバンス用)が定着したブランド力により底堅い売行きを示すとともに、廉価版ソフトも健闘いたしました。

しかしながら、全体的に小粒なタイトルが多いことに加え、大型ソフトの不在も重なり、弱含みに展開いたしました。

この結果、売上高は81億19百万円(前年同期比26.5%減)となりました。

©CAPCOM CO., LTD. 2003 ALL RIGHTS RESERVED.

©2001-2003 Take-Two Interactive Software, Inc. All Rights Reserved.
Rockstar Games and the R☆ logo and Grand Theft Auto are registered trademarks of Take-Two Interactive Software, Inc. Rockstar Games, Inc. and Rockstar North Limited are subsidiaries of Take-Two Interactive Software, Inc.

©CAPCOM CO., LTD. 2002 ALL RIGHTS RESERVED.

Character Samanosuke by ©Fu Long Production.

©CAPCOM CO., LTD. 2004 ALL RIGHTS RESERVED.



「ビューティフル ジョー」(ニンテンドーゲームキューブ用ソフト)
新作アクションゲームとして順調に売上を伸ばしています。



「グランド・セフト・オート III」(プレイステーション2用ソフト)
欧米で800万本以上のセールスを記録した人気ソフトを日本で発売いたしました。



「ロックマン エグゼ3」(ゲームボーイアドバンス用ソフト)
人気シリーズの最新作として米国で堅調な売行きを示しています。

【アミューズメント施設部門】

アミューズメント施設運営事業は、市場規模の減少に歯止めがかかり、回復基調に転じてまいりました。

こうした環境下、各種イベントや店舗のリニューアルによりファミリー層や女性客を取り込むなど、積極的な集客戦略に努め需要の拡大を図ってまいりました。当上半期は、複合商業施設に「プラサカブコン奈良店」(奈良県)および「プラサカブコン盛岡店」(岩手県)をオープンするとともに、国内の1店舗を閉鎖するなど、スクラップ・アンド・ビルドによる収益展開を行ってまいりました。

この結果、売上高は46億79百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

【業務用機器部門】

手軽な娯楽として人気を集めている遊技施設向けに、家族連れなど広範な客層に対応した集客力の高いメダルゲーム機「アジアキッチン」等を販売いたしました。

また、前回大ヒットとなった「機動戦士ガンダム 連邦 VS. ジオンDX」の続編であり、根強い人気シリーズのビデオゲーム機「機動戦士Zガンダム エウゴ VS. ティターンズ」が安定した顧客層により好調に伸長し、売上拡大のけん引役を果たしました。

この結果、売上高は27億44百万円(前年同期比362.3%増)となりました。

【その他の部門】

その他の売上高は13億52百万円(前年同期比4.5%減)で、主なものはライセンス許諾によるロイヤリティ収入7億43百万円であります。



「プラサカブコン盛岡店」(岩手県)



キャラクターグッズ(ライセンス商品)

新作情報



「鬼武者 3」(プレイステーション2用ソフト)
映画俳優であるジャン・レノ氏が登場する「鬼武者」シリーズ最新作。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当中間連結会計期間末 (平成15年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成14年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成15年3月31日現在)
【資産の部】				
流動資産		[70,699]	[77,616]	[74,597]
現金および預金		27,590	32,594	30,445
受取手形および売掛金		10,476	15,174	15,566
有価証券		557	2,167	2,998
たな卸資産		7,008	5,208	6,360
ゲームソフト仕掛品		13,288	13,549	10,331
繰延税金資産		3,553	4,473	4,353
短期貸付金		4,324	4,223	4,336
その他		4,403	2,689	2,798
貸倒引当金		△ 504	△ 2,462	△ 2,594
固定資産		[35,183]	[34,402]	[32,050]
(有形固定資産)		(14,999)	(15,061)	(12,408)
建物および構築物		7,277	4,949	4,709
機械装置および運搬具		132	184	121
工具器具備品		715	796	722
レンタル機器		158	2,034	177
アミューズメント施設機器		2,234	2,376	1,949
土地		4,475	4,702	4,700
建設仮勘定		5	16	27
(無形固定資産)		(1,052)	(1,164)	(1,151)
(投資その他の資産)		(19,131)	(18,176)	(18,489)
投資有価証券		2,409	2,053	2,029
長期貸付金		928	6,203	948
繰延税金資産		10,613	9,881	10,534
破産債権更生債権等		116	145	6,271
その他		5,532	6,483	5,308
貸倒引当金		△ 470	△ 6,589	△ 6,603
資産合計		105,882	112,019	106,648

科目	期別	当中間連結会計期間末 (平成15年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成14年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成15年3月31日現在)
【負債の部】				
流動負債		[18,895]	[19,133]	[20,317]
支払手形および買掛金		5,525	4,266	5,173
短期借入金		7,024	8,538	7,505
未払法人税等		203	28	649
賞与引当金		339	334	454
返品調整引当金		375	348	613
その他		5,426	5,615	5,922
固定負債		[44,585]	[43,556]	[43,410]
転換社債		37,262	37,262	37,262
長期借入金		5,880	3,807	3,570
繰延税金負債		89	—	—
退職給付引当金		822	760	803
その他		532	1,726	1,775
負債合計		63,481	62,690	63,728
少数株主持分		—	45	31
【資本の部】				
資本金		[27,581]	[27,581]	[27,581]
資本剰余金		[24,852]	[30,471]	[30,471]
利益剰余金		[△ 6,080]	[△ 9,182]	[△ 12,049]
その他有価証券評価差額金		[130]	[△ 20]	[△ 160]
為替換算調整勘定		[△ 985]	[457]	[142]
自己株式		[△ 3,097]	[△ 23]	[△ 3,096]
資本合計		42,401	49,283	42,888
負債、少数株主持分 および資本合計		105,882	112,019	106,648

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間連結会計期間 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前連結会計年度 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
売上高		22,452	25,658	62,036
売上原価		14,522	15,729	38,585
売上総利益		7,929	9,929	23,451
返品調整引当金繰入額		—	348	613
返品調整引当金戻入額		237	—	—
差引売上総利益		8,167	9,580	22,838
販売費および一般管理費		6,323	8,120	16,158
営業利益		1,844	1,459	6,680
営業外収益		(148)	(224)	(483)
受取利息		105	102	196
受取配当金		2	3	3
受取賃貸料		—	49	49
為替差益		—	—	145
その他の		40	69	88
営業外費用		(422)	(171)	(365)
支払利息		131	106	254
為替差損		240	—	—
その他の		49	64	110
経常利益		1,570	1,513	6,797
特別利益		(24)	(0)	(3)
固定資産売却益		13	0	0
貸倒引当金戻入益		10	—	3
特別損失		(45)	(29,456)	(36,850)
固定資産除売却損		45	46	186
土地建物等評価損		—	24,331	24,331
投資有価証券評価損		—	219	619
棚卸資産処分損		—	1,389	1,429
開発中止損		—	516	5,284
事業整理損		—	304	406
棚卸資産評価損		—	—	1,508
特別退職金		—	—	81
貸倒引当金繰入額		—	2,375	2,708
その他特別損失		—	271	293
税金等調整前中間(当期)純利益または純損失(△)		1,548	△ 27,943	△ 30,049
法人税、住民税および事業税		26	316	1,105
過年度法人税等戻入額		—	△ 221	△ 221
法人税等調整額		617	△ 10,705	△ 11,304
少数株主損失		15	16	30
中間(当期)純利益または純損失(△)		919	△ 17,315	△ 19,598

中間連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間連結会計期間 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前連結会計年度 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
【資本剰余金の部】				
資本剰余金期首残高		30,471	30,464	30,464
資本準備金期首残高		—	30,464	30,464
資本剰余金増加高		—	6	6
転換社債の転換による組入れ		—	0	0
自己株式処分差益		—	5	5
資本剰余金減少高		5,619	—	—
配当金		569	—	—
資本金および資本準備金減少差取崩額		5,049	—	—
自己株式処分差損		0	—	—
資本剰余金中間(期末)残高		24,852	30,471	30,471
【利益剰余金の部】				
利益剰余金期首残高		△ 12,049	8,776	8,776
連結剰余金期首残高		—	8,776	8,776
利益剰余金増加高		5,968	—	—
中間純利益		919	—	—
資本金および資本準備金減少差取崩額		5,049	—	—
利益剰余金減少高		—	17,959	20,826
中間(当期)純損失		—	17,315	19,598
配当金		—	583	1,168
役員賞与		—	60	60
利益剰余金中間(期末)残高		△ 6,080	△ 9,182	△ 12,049

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間連結会計期間 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前連結会計年度 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 565	△ 1,090	3,635
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 4,947	△ 1,429	△ 2,329
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,258	2,924	△ 2,000
現金および現金同等物に係る換算差額		△ 1,042	△ 642	△ 861
現金および現金同等物の減少額		△ 5,296	△ 238	△ 1,555
現金および現金同等物の期首残高		33,444	35,000	35,000
現金および現金同等物の中間期末(期末)残高		28,148	34,761	33,444

セグメント情報 当中間連結会計期間(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

事業の種類別セグメント情報

(単位:百万円)

	コンシューマ用 機器販売事業	アミューズメント 施設運営事業	業務用機器 販売事業	その他事業	計	消去または全社	連 結
売上高および営業損益							
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	13,409	4,679	2,706	1,656	22,452	(—)	22,452
(2)セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	44	—	44	(44)	—
計	13,409	4,679	2,751	1,656	22,497	(44)	22,452
営 業 費 用	12,928	3,563	1,691	1,285	19,468	1,138	20,607
営 業 利 益	481	1,115	1,060	370	3,028	(1,183)	1,844

- (注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。
 2. 各事業の主な製品および事業内容
 (1)コンシューマ用機器販売事業…………… 家庭用ゲームソフトの開発、販売事業
 (2)アミューズメント施設運営事業…………… アミューズメント施設の運営事業
 (3)業務用機器販売事業…………… 業務用ゲーム機器、IC基板等の開発、製造、販売事業
 (4)その他事業…………… 映像事業、レンタル事業、その他
 3. 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は1,196百万円であり、その主なものは、管理部門に係る費用であります。

所在地別セグメント情報

(単位:百万円)

	日 本	北 米	欧 州	その他の地域	計	消去または全社	連 結
売上高および営業損益							
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	15,215	4,655	2,425	155	22,452	(—)	22,452
(2)セグメント間の内部売上高または振替高	2,004	—	—	—	2,004	(2,004)	—
計	17,219	4,655	2,425	155	24,456	(2,004)	22,452
営 業 費 用	13,986	4,963	2,283	163	21,397	(790)	20,607
営業利益または損失(△)	3,232	△308	142	△8	3,058	(1,213)	1,844

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域
 北 米…………… アメリカ合衆国
 欧 州…………… ヨーロッパ諸国
 その他の地域…………… アジア、その他
 3. 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は1,196百万円であり、その主なものは、管理部門に係る費用であります。

海外売上高

(単位:百万円)

	北 米	欧 州	その他の地域	計
I 海 外 売 上 高	4,933	2,505	175	7,614
II 連 結 売 上 高				22,452
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	22.0%	11.2%	0.8%	33.9%

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国または地域
 北 米…………… アメリカ合衆国
 欧 州…………… ヨーロッパ諸国
 その他の地域…………… アジア、その他
 3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高の合計額(ただし、連結会社間の内部売上高を除く。)であります。

中間貸借対照表(単独)

(単位:百万円)

科目	期別	当中間会計期間末 (平成15年9月30日現在)	前中間会計期間末 (平成14年9月30日現在)	前事業年度 (平成15年3月31日現在)
【資産の部】				
流動資産		【 57,881】	【 64,178】	【 58,614】
現金および預金		15,822	25,022	15,208
受取手形		429	361	155
売掛金		9,302	7,916	10,807
有価証券		557	—	2,998
たな卸資産		4,539	4,365	4,374
ゲームソフト仕掛品		13,141	13,392	10,110
繰延税金資産		2,453	2,885	2,509
短期貸付金		8,827	8,619	10,740
その他の他		2,838	1,643	1,738
貸倒引当金	△	32	△ 30	△ 30
固定資産		【 46,951】	【 45,063】	【 46,999】
(有形固定資産)		(3,097)	(3,311)	(2,851)
建築物		177	199	191
構築物		1	0	—
機械装置		0	19	0
車両運搬具		16	33	27
工具器具備品		660	763	681
アミューズメント施設機器		2,236	2,280	1,951
土地		0	0	0
建設仮勘定		5	16	—
(無形固定資産)		(1,034)	(1,160)	(1,147)
(投資その他の資産)		(42,818)	(40,591)	(43,000)
関係会社株式		24,454	24,230	24,424
長期貸付金		8,153	7,403	7,503
破産債権更生債権等		116	145	97
繰延税金資産		9,930	9,593	10,406
差入保証金		5,408	5,966	5,769
その他の他		1,577	1,100	1,578
貸倒引当金	△	5,450	△ 5,420	△ 5,407
投資等評価引当金	△	1,373	△ 2,428	△ 1,373
資産合計		104,832	109,241	105,613

科目	期別	当中間会計期間末 (平成15年9月30日現在)	前中間会計期間末 (平成14年9月30日現在)	前事業年度 (平成15年3月31日現在)
【負債の部】				
流動負債		【 16,117】	【 15,230】	【 15,969】
支払手形		1,300	1,165	1,118
買掛金		3,092	1,393	1,845
短期借入金		6,324	8,118	7,085
未払法人税等		17	27	14
賞与引当金		225	193	193
返品調整引当金		375	348	613
その他の他		4,781	3,983	5,098
固定負債		【 38,548】	【 39,714】	【 39,738】
転換社債		37,262	37,262	37,262
長期借入金		—	27	—
退職給付引当金		821	759	802
その他の他		465	1,665	1,673
負債合計		54,666	54,945	55,707
【資本の部】				
資本金		【 27,581】	【 27,581】	【 27,581】
資本剰余金		【 24,852】	【 30,471】	【 30,471】
資本準備金		7,465	7,465	7,465
その他資本剰余金		17,386	23,005	23,005
自己株式処分差益		5	5	5
資本金および資本準備金減少差益		17,380	23,000	23,000
利益剰余金		【 830】	【 △3,732】	【 △5,049】
任意積立金		—	7,000	7,000
別途積立金		—	7,000	7,000
中間未処分利益または 中間(当期)未処理損失(△)		830	△ 10,732	△ 12,049
自己株式		【 △3,097】	【 △ 23】	【 △3,096】
資本合計		50,166	54,296	49,906
負債および資本合計		104,832	109,241	105,613

中間損益計算書(単独)

(単位:百万円)

科目	期別	当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度
		(平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)	(平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
売上高		16,895	17,588	43,454
売上原価		11,447	11,601	29,163
売上総利益		5,447	5,987	14,291
返品調整引当金繰入額		—	348	613
返品調整引当金戻入額		237	—	—
差引売上総利益		5,685	5,639	13,678
販売費および一般管理費		3,993	4,504	9,449
営業利益		1,691	1,134	4,229
営業外収益		(183)	(261)	(405)
受取利息		138	100	207
受取配当金		0	23	23
受取賃貸料		—	55	55
業務受託収入		7	—	16
業その他の		36	82	101
営業外費用		(388)	(179)	(332)
支払利息		34	44	81
社債利息		61	61	122
為替差損		179	22	51
貸倒引当金繰入額		97	—	—
その他の		17	50	77
経常利益		1,485	1,216	4,302
特別利益		(1)	(4,002)	(5,061)
固定資産売却益		1	24	24
貸倒引当金戻入益		—	—	3
投資有価証券売却益		—	6	6
投資等評価引当金戻入益		—	3,972	5,027
特別損失		(44)	(29,010)	(34,315)
固定資産売却損		11	23,661	23,673
固定資産除却損		33	23	61
投資有価証券売却損		—	219	219
棚卸資産処分損		—	1,389	1,429
開発中止損		—	516	5,295
事業整理損		—	304	304
棚卸資産評価損		—	—	322
貸倒引当金繰入額		—	2,623	2,657
特別退職金		—	—	81
その他特別損失		—	270	269
税引前中間(当期)利益または損失(△)		1,442	△ 23,791	△ 24,952
法人税、住民税および事業税		17	27	39
過年度法人税等戻入額		—	△ 221	△ 221
法人税等調整額		594	△ 10,588	△ 11,028
中間(当期)利益または損失(△)		830	△ 13,008	△ 13,741
前期繰越利益		—	1,786	1,786
抱合せ株式消却損		—	463	463
利益準備金取崩高		—	952	952
中間配当額		—	—	584
中間(当期)未処分利益または未処理損失(△)		830	△ 10,732	△ 12,049

株式の状況 (平成15年9月30日現在)

- 会社が発行する株式の総数 150,000,000株
- 発行済株式の総数 58,435,819株
- 株主数 22,965名
- 大株主

株主名	持株数	議決権比率
有限会社クロスロード	6,772	11.99 %
辻本憲三	4,070	7.21
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	2,266	4.01
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー505041	2,000	3.54
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,986	3.52
辻本美之	1,669	2.96
辻本良三	1,545	2.74
辻本春弘	1,545	2.74
UFJ信託銀行株式会社 (信託勘定A口)	1,203	2.13
ステート・ストリート信託銀行 株式会社(OTB口)	1,165	2.06

(注) 当社は、自己株式1,516,130株(商法第210条の規定に基づき取得した株式1,500,000株を含む)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

会社の概要 (平成15年9月30日現在)

社名	株式会社 カプコン (CAPCOM CO., LTD.)
設立	昭和54年5月30日
創業	昭和58年6月11日
主要な事業内容	家庭用テレビゲームソフトの企画、開発、販売ならびにアミューズメント施設の運営
資本金	275億81百万円
従業員数	1,072名
主要な事業所	本社 大阪市中央区内平野町三丁目1番3号 研究開発ビル 大阪市中央区内平野町三丁目2番8号 東京支店 東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
主要な子会社	株式会社ステイタス(大阪市) 株式会社カプトロン(大阪市) カプコンU.S.A., INC.(米国) CE・ヨーロッパ LTD.(英国) カプコンアジアCO., LTD.(香港)
ホームページ	http://www.capcom.co.jp/

役員 の 状 況 (平成15年9月30日現在)

代表取締役社長	辻 本 憲 三
取締役副社長	大 島 平 治
専務取締役	辻 本 春 弘
常務取締役	小 田 民 雄
取締役	北 村 恭 二
取締役	堀 紘 一
取締役	家 近 正 直
監査役(常勤)	山 口 省 二
監査役(常勤)	小 西 繁 男
監査役	黒 田 守 雄
監査役	中 山 好 雄

- (注) 1. 取締役 北村恭二、堀 紘一および家近正直の各氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
2. 監査役 山口省二、黒田守雄および中山好雄の各氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株主メモ

決算期 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月中
基準日 定時株主総会 3月31日
配当金受領株主確定日 利益配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

1単元の株式の数 100株
名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒541-8502
(お問い合わせ先) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
UFJ信託銀行株式会社
大阪支店 証券代行部
電話(06)6229-3011(代表)

同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村証券株式会社 全国本支店

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の
電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料)
0120-24-4479 (本店証券代行部)
0120-68-4479 (大阪支店証券代行部)

ホームページ
<http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

公告掲載新聞 日本経済新聞

○なお、貸借対照表および損益計算書に関する情報は、決算公告に
代えて、下記インターネットアドレスにおいて掲載しております。

<http://www.capcom.co.jp/ir/finance/publicinfo.html>

上場証券取引所 東京・大阪証券取引所

●IRホームページをご利用ください●

IRホームページでは、財務データや株式に関する情報などに加え、経営戦略など様々な情報提供を行っております。



ホームページアドレス

<http://www.capcom.co.jp/ir/>